

令和4年度 第1回 森町総合教育会議 会議録

日 時：令和5年2月2日（木）10：30～

場 所：森町福祉センター（森町公民館） 1階 大会議室

議 長：岡嶋町長

出席委員：毛利教育長・三輪委員・長瀬委員・吉川委員・古川委員

出席者：岡嶋町長

坂田学校教育課長

河野学校教育課参事

須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長

木村体育課長(兼)体育館長(兼)青少年会館長(兼)生涯学習課長

藤嶋森町学校給食センター長

西川学校教育課総務係長

石井学校教育課総務係主事

署名委員：三輪委員・古川委員

議 題：（1）森町教育大綱の策定について

（坂田学校教育課長）

それでは進めさせていただきます。只今より令和4年度第1回森町総合教育会議を開催いたします。開会にあたりまして、岡嶋町長よりご挨拶申し上げます。

（岡嶋町長）

教育委員の皆様、おはようございます。お忙しい中本日の森町総合教育会議に際してお集まりいただきまして、ありがとうございます。平成30年に一度前回の教育大綱を策定する時にこの会議を開いて、今回令和4年度の第1回となりますが、町長としてもですね、教育行政に関して役割的に町長部局と教育部局と分かれているところではありますが、様々な方々と私も町長としてお付き合いする中で、教育行政に対してプラスの影響、人材ですとか、財政的な支援、教育委員をはじめとする町民の皆様からのご意見を教育行政に反映して、今後もしっかりと協業をしていければと考えております。そして今回、策定させていただきました教育大綱につきまして、前段、はじめにというところにおいて、私なりの思いを書かせていただきました。何分だらだら長く書くようなものでもありませんので、要約して3つのポイントに分けて書かせていただきました。課長の方からも説明がありますが、未来に向けて子どもたちがどのような姿、どのような能力を身に付けていかなければならないのか、そして教務に携わる先生方ですとか、町民の皆様もどのように教育に携わっていくか、そして森町全体をどういう風に教育環境の方針の中で森町の良いところを活かしていくべきか、そういったところを私なりの言葉で考えて書かせていただきました。これを基に今後教育長が教育執行方針を策定していくというところです。逐一日本の情勢ですとか色々なモノ

の変化を捉えて、年度ごとその都度変更できるように見直せるように今回いたしましたので、機会を見て必要であれば総合会議を何度か開催させていただいて、町長部局と教育委員の皆様と意見交換等させていただければと考えております。しっかりと次世代を担う子どもたちのために、町長としてもしっかりと教育行政に関して支援・協働していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、本日の会議について、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(坂田学校教育課長)

ありがとうございます。早速会議に入らせていただきますが、森町総合教育会議運営要綱第4条の規定により、町長が議長となることから、議事の進行を町長にお願いします。

(岡嶋町長)

はい、それでは只今より私が議長として就任させていただきますので、よろしくお願いいたします。会議に先立ちまして、まず会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員に三輪委員と古川委員を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは早速議題に入ります。協議・調整事項でございます。(1) 森町教育大綱の策定について事務局より説明をお願いいたします。

(坂田学校教育課長)

それでは、森町教育大綱の策定についてのご説明を致します。事前に教育大綱(案)を配布しておりますので、詳細の読み上げは省略させていただきます。教育大綱は、町長と教育委員会が協議・調整し、町長が策定するもので、地方公共団体としての教育政策に関する方向性を明確化するものです。前回策定した森町教育大綱の期間につきましては、平成30年度から令和4年度となっており、令和5年度からの大綱を定めるものでございます。

それでは、1ページをお開き願います。まず、1はじめにでは、「次世代を担う子どもたちに求められる能力」、「今後の森町の教育で重要とする点」、「より良い教育環境の構築・教育行政の役割」などを記載しております。

3ページをお開き願います。Ⅱ教育大綱についてでございますが、策定の根拠・役割、大綱の役割、対象期間等、持続可能な開発目標との関係を記載しております。Ⅲ基本方針についてでございますが、基本方針1の「新たな社会を生きる力を育む」、5ページからの基本方針2の「まなびを支える環境を整える」、7ページの基本方針3の「地域と産業を担う人を育む」8ページの基本方針4の「生涯を通じて学び続ける人を育む」について、4つの基本方針それぞれの推進すべき事項、充実すべき事項、育成すべき事項、振興すべき事項等を記載しております。簡単ですが、説明は以上です。

(岡嶋町長)

それでは、只今説明させていただきました教育大綱について、ご意見・ご質問等ございましたら何なりと忌憚のないご意見をいただければと思います。

(毛利教育長)

私一つですね、皆さんをお呼びたてている中で申し訳ないのですが、3ページのⅡの4、「SDG's」という表記がありますけれども、これについて色々調べたところ、現在はこのアポストロフィを取って表示しているケースが多いので、「SDGs」という表記に最終的に修正したいと思いますので、よろしく願いいたします。

(岡嶋町長)

具体的な話というのはなかなか表記しづらいという部分もありますので、どちらかというと私の思いというかそういうところになってくるのかなと。それを先ほど挨拶で話させていただいたんですけれども、年度ごと教育長がどのように執行方針を書いていくかというところではあると思いますが、やはり大事にしたのは、これから世の中がどのように変わっていくか、とても早いペースで激変していくと思うんですね。特にインターネットですか、AI だとか、色々な技術革新が進む中で、学校とかそういうものだけでなく、働き方ですとか、普段の生活もどんどん変わっていく中で、やはりそれを受け身ではなく子どもたちの社会を切り開いて生きていく力に変える、そんな能力を身に着けてほしいと思っています。社会がこう変わるから、その社会に合わせて生きるのではなくて、社会を変える、日本国にとっての主体者・主役に子どもたちはなっていかなければならないと思います。口で言うのは簡単なんですけど、大きな目標として長いスパンで森町の教育というところで実現して行きたいという思いを込めて、書かせていただきました。色々聞きなれない言葉だとも出たりするんですけれども、そんな特殊な意味はなくて、これからの世の中に必要な考えですとか、ある意味仮説を持った考えではあるんですけれども、目指すべき、在るべき姿だと私も思いますし、一次産業が豊かな森町でありますので、そこは産業、行政など色々なものが協働して森町のまちづくり、ひとづくりというところを教育でも実現していければ良いと思っております。

(三輪委員)

すみません、基本方針1で「新たな社会を生きる力を育む」という題が付いていますよね。私は生きる力というよりも、もっと入り込んだ形の「生き抜く力」という文の中で進めていった方が良いと思います。というのは、あまりにも今の子どもたち、大人もそうなんですけれども、コミュニケーションが凄く下手ですね。そして自分のことを中心にして考えるものですから、周りへの思いやりという部分が薄いように思うんです。それは経験が不足しているという部分が大きいと思うんですよね。家庭でも例えばの話ですけれども、「昔はおばあちゃん達の時はこうだったんだよ」「今のお父さん達の時はこうだったんだ」というような、

家庭でコミュニケーションの基礎的な部分が育まれると思うんですが、そういう部分の中で、やっぱり大人が先頭きってやらないと、子どもにはなかなか浸透しないと思うんですよね。そういう部分の中で考えていくと、「生きる力」というよりも「生き抜く力」。社会に対応できて、周りの人と上手く協働しながらというのが、「生きる力」よりも「生き抜く力」の方がもっと入り込んだ形でお話がきちんとしていけるのではないかと思います。

(岡嶋町長)

そうですね。私も先ほどの仮説の中で便利になる一方で人口減少が進んで大変な社会になっていくと思います。子どもたちの負担というのも大きくなっていくと思いますし、そのことも捉えて書かせてもらっていますので、三輪委員がおっしゃる通り「生き抜く」という表現が適しているか、確認のうえ修正させていただきます。

(三輪委員)

今お祭りだとか、大人の方々もちょうど中間層が少ないですよ、少子高齢化で。私たちの頃は、凄く豊漁な時もあった、不漁の時もあるような経済の変遷の中でもあったんですよね。だから良い時とそうじゃない時があって、それに対して子どもなりの見方があって、色々な意味で子どもが参画まで出来ていた。例えばお祭りでもそうですし、地域の中でお父さんやおじいちゃんが一生懸命やっている中に子どもも参加してというようなことが、今はなかなか地域の中の文化という部分が少なくなって、なかなか触れる機会が無いんですよね。やっぱり子どもの時からそういうものに触れていかないと。自分のふるさとを大事に思うとか、そういったものが思い出の中から育まれていくということが、私は多かったんですよね。だからそれに対して今度は私たちも「今はもう出来ないから」じゃなくて、なるべく私たちが体験して良かったことを子どもたちに少しでも伝えられるようなそういった前向きな姿勢を大人が取っていかないと、そういう部分では大変だと思うんですよね。自分の思いと地域の間との思いがなかなかドッキングしていかないとという部分の中では。私はこれから学校の先生ばかりに頼るのではなく、地域の教育が低下してきているというのは何十年も前から言われてきているんですけども、子どもたちが生活している周りの地域の大人の力がこれからまちづくりに影響していくのではないかと思います。それから食べ物でもそうなんです。私たちが子どもの頃に食べていたものがありますよね。今段々便利な世の中で自分で作って食べるということが少なくなってきました。例えばお正月だったらくじら汁を作るだとか。そういうものをおばあちゃんが上手だと、それに対してお母さんと一緒に子どもも何か手伝う、野菜を洗うだとか、そういった部分の参画というものが伝えられていくそういった部分を大人の人も生活の中に取り入れていかないと、なんでも既成のものばかりで、確かに美味しいですよ。だけどそうじゃなくて子どもと一緒に「食べることは大事なんだよ、食べることは命をいただいていることなんだよ。」ということが家庭教育でぜひ浸透してほしい。本当に森町が時期に採れる魚、時期に採れる野菜、そういったもの

をたくさん食べて、そして心を豊かにして社会に参画してほしいと常に私は思っています。給食の中に森町の食材をただ入れるのではなく、「このかぼちゃはこういう人が作ったんだよ」と顔も子どもたちの中に伝えられていくような食育と言うのでしょうか。学校にばかり依存しているような気がするんです。家庭の中の教育が大事で、その教育を学校に渡すというような連携でないと。なんでも学校で。今まであまりにも先生方や学校が受け入れすぎてきたのかなと思います。私は子どもは町の宝ですけれども、教育の部分で支えている先生方も宝だとそういう持論を持っています。だから、あまり先生方に負荷を掛け過ぎないように地域も行政も一緒になって稼働していかないと、働き方改革だとか色々なことが出てきますけれども、やはりお互いの資質というものが受け継がれるような地域であって、行政であって、学校教育であってというところを大事にしていかないと、これから子どもたちに何を渡せるかと考えた時に、やっぱり一番大事なのは人の思いやりだとか自分が世の中の役に立つ人間であるという自信という部分で、そういったところは教育と連携していかなければ、そういったことがこれからはもっともっと必要になってくるのではないかと、顕著になってくるのではないかと考えています。すみません、べらべらと申しまして。

(岡嶋町長)

いえいえ、本当に大事なことだと思います。私も思いの中で学校現場での先生たちの負荷というのは本当に私も学校へ子どもを通わせている身として非常に大変だと感じております。働き方改革だとかという話以上に、地域全体が学校であり、地域の人々みんなが学校の先生。お互いが学びつつ教えつつという、森町全体でその教育というものをどうやって築き上げていくか、それがまちづくりの根底にあるというところを上手く形あるものにしていければ、三輪委員がおっしゃるとおり、森町の良いところ、文化をしっかりと継承していくことに繋がると思います。ですので、公教育とその後の協働、情報共有も含めてそういった部分も大事な点として書かせていただきたいと思います。これはある程度具体化されるものとしてぜひ反映させていただければと思います。

(三輪委員)

ありがとうございます。町長のそういったお言葉をお聞きしまして、これから私たちももう少し自分たちの役目・使命を持って活動させていただかなければいけないと今強く思いました。ありがとうございます。

(岡嶋町長)

よろしくお願いたします。この教育委員の皆さんと意見交換をする場というのが、ちょっとした機会でお話しするということはあるんですけれども、やはり会議の中でというのが総合教育会議でというのが一番なのかなと思いますし、今回教育大綱の策定ということでお集まりいただいたんですけれども、また色々なタイミングでもしお集まりいただける

のであれば、意見交換等々していけば、凄く建設的な方向に行くのかなと思います。町長としてもお願いしたいところです。

(三輪委員)

ひとつづくりというところでは教育委員会がまちづくりのなかで一つ担っている、中心として大事にしているポイントですから。人としてという話は、人として子どもたちがきちんと社会に通用できる形の中で、森町の教育が活かされていければ良いですよ。

(岡嶋町長)

そうですね。

(三輪委員)

意外と町に住んでいる人って外に出て自分の町を見ると良いところがいっぱいあるんだということが分かるんですけども、ここにずっと住んでいると当たり前で、あまり良さを強く感じるものが少ないんじゃないかと。私も外に出て学校に行ったり勤めてみたりして、この町って良いところだなと、それこそ豊かな自然があり、美味しいお魚があつて。すみません、この大綱から少し外れるかもしれませんが。教育長から聞きましたけれども、今森高校の中で ICT に町でも協力をして、森高校が注目されているという話も聞きました。ああ、良かったなと思いました。森高校の華々しい、輝かしい時代を知っていますから。その中で第一次産業が漁業ですよ。昔は水産科というのが森高校にあったんですね。その時はやはり漁業を担う学校の教育の中で燻製を作ってみたりということも教育の中で培われてきた部分というのもあつて、漁業が衰退しているというのも環境もありますけれども、そういうのも教育の中だと。鹿部には漁業研修所みたいなものがありますよね。だけれども、そういうのも森町の漁業を第一次産業とするのであれば、そういうのも外部から先生を招いてみたりとそういうのも色々な形の中で森町を体験できるような企業体験と言いますか、会社ばかりでなくて。そういうのも取り入れて子どもたちに方向性を見つけてあげられるようなものがあればと思います。

(岡嶋町長)

はい、やっぱりなかなか森高校に特化した学科を単純にお願いするというのは非常に難しく、であれば逆転の発想で、町が積極的に絡む、ある程度の財源も提供する。独自のカリキュラムで地域の人を先生として、森町にある高校としてそういった学べるものをどんどん進化させていけばそれは実現すると思います。北海道の教育長もお話ししたと思うんですけども、高校を残すも残さないも一番大事な点というのはどれだけ地域の人と協働して学校を魅力化しようとしているか、そこを非常によく見ているとおっしゃっていました。ですからそういう意味でも当然森町に高校を残したいと皆さんそう思っているしや

と思いますので、ぜひそこは町内の色々な産業の方々と協力して、一石二鳥ではないですが、森高校に行っても良かったと、森高校があって良かったと、そういうものを皆さんと協働して作っていければ良いと思っております。そこも頑張ってやっていきたいと思っております。

(三輪委員)

全体的にこの教育大綱は実現可能な部分がいっぱいあって私はとてもこれは素晴らしいと思っております。

(岡嶋町長)

これからどんどん世の中が変わっていくと思っておりますので、それを踏まえて足りない部分は足したり、修正する部分は見直したりとそういうのもご意見としていただきたいと思っておりますので、おっしゃっていただければ柔軟に反映させていきたいと思っております。

(三輪委員)

ごめんなさい、私ばかり話して。教育長も色々な事を私たちと一緒にやってくださっている形の中で、勉強する意欲みたいなものも教育長からもいただいておりますので、ぜひ教育に対しては教育委員会の面々同士、町長サイドからは色々な話しかけ、投げかけをしていただけると私たちもそれに波及して勉強できるのではないかと、そういう感じを持っております。

(岡嶋町長)

ありがとうございます。

(三輪委員)

大事ですね。町長から実際にこうして話を聞いたり、聞いてもらったり。行政に反映するようなお話はなかなか出来ませんが、直にお話し出来ると人の目を通して「こういうことも考えていらっしゃるんだ」ということを伝えられて、総合教育会議というものが大事なもののだと改めて痛感いたしました。

(岡嶋町長)

これから色々なものを積み上げていかなければならないと思っております。そこはなかなか実験的だったり投資的な色々な施策をやっていかなければならないでしょうし、そこは町長が責任を持ってしっかりとご理解いただきながらやっていきたいと思っております。貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

(三輪委員)

すみません、一人で話してしまって。初めてでしたから、一挙に色々なものが噴出いたしました。とりとめもなくお話ししてしまいました。大変失礼いたしました。

(岡嶋町長)

いえいえ。ありがとうございます。何かございますでしょうか。

(三輪委員)

やはり歴史って大事なことですよね。歴史を知るということは大事なことですよね。また違った角度から物事を捉えられるでしょうし、例えば各学校の歴史なんかでも開校何十年という中に色々な人の想いだとかが私たちも感じる事が出来ますし、ご苦勞をいただいたりと、歴史を知って積み上げていくというのが一番正しいのかなと思います。

(岡嶋町長)

やはり地域の方々が先生になるという言い方はちょっとなかなか難しいですけども、

(三輪委員)

大人が先生にならなきゃいけないんですよね、地域の。良いと思います。

(岡嶋町長)

そうですね。ひとまずよろしいでしょうか。今後教育長の執行方針等色々な施策の展開、執行を受けて、見直しも含めて都度毎年ご意見等あれば、私がお願いして参集いただくという形ではありますが、そういったご意見があるということがあれば、私も皆さんから色々なご意見をいただいてお話をさせていただく機会を作らせていただきますので、よろしく願いいたします。今回この教育大綱をこのような形で策定させていただきますので、よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(岡嶋町長)

ありがとうございます。それでは教育大綱の策定につきましては以上でございます。

それでは続きまして4番その他というところでございますが、こちらも何かあればお願いいたします。何がございせんか。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)



(岡嶋町長)

ありがとうございます。それでは以上を持ちまして、令和4年度第1回森町総合教育会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。お疲れ様でした。

(教育委員一同「ありがとうございました。」の声)